

東北の国土は私たちが守っていく



東測協だより

Vol. **3**
2015

Contents

- ・ごあいさつ
- ・スマートフォンアプリ「ガイド東北」について
- ・大学等連携事業
- ・平成26年度 技術委員会事業紹介（10月以降）

私達の理念

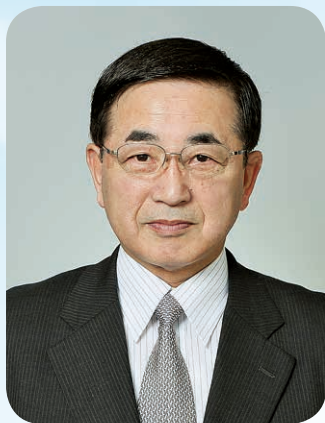
「東北に根差し、地域に責任を持ち、期待される協会」



一般社団法人 東北測量設計協会

Tohoku Survey & Planning General Inc. Association

ごあいさつ



副会長 安孫子 正芳

本協会は今年創立30周年を迎えることになりました。『東北の国土は私たちが守っていく』のスローガンで会員それぞれが地域に貢献できるよう取り組んでいております。

東日本大震災から4年が過ぎ、被災地の復興に向けても多くの会員が支援させていただいております。これからも東北の国土保全のため会員一丸となって地域発展のため貢献してまいります。

平成27年3月14日から18日まで仙台市や東北各地において第3回国連防災世界会議が開催されました。期間中世界各国から約4万人の人々が東北に訪れました。東日本大震災被災地の状況や東北6県の観光情報などが瞬時にわかる、スマートフォンアプリ「ガイド東北」※1が活躍しました。このアプリの開発にあたりコンテンツ系パートナーとして、当協会の「ガイド東北特別委員会」では当初から対応させていただきました。これからもより使いやすくするため、更新などについても協力していきたいと考えております。

昨年6月施行された改正品確法により、受注者の責務として品質確保には担い手の育成・確保が重要になってきました。若い人たちが我々建設関連業にも入社できるよう、健全経営に努めていくことが求められております。当協会では今年度も東北6県の大学や高等専門学校等教育機関との交流を深め連携を取りながら、インターンシップの受け入れや講師派遣などを実施してまいります。学生の皆さんにも私たちと一緒に地域を守る活動に取り組んで頂きたいと思っております。

平成27年度は30周年の節目の年です。初心にかえり新たな一歩としてスタートし、東北の未来がさらに発展することを祈り、東北に根差した協会として一層精進してまいります。

※1

iアプリ用
For iPhone,iPad

アプリの
ダウンロードは
こちらから

Download app here

※H27.3.14 から
ダウンロード開始!

Downloading available
from March 14, 2015!

アンドロイド用
For Android



スマートフォンアプリ「ガイド東北」について

ガイド東北特別委員会

委員長 **田村 道雄**

この度、東北測量設計協会30周年記念事業として東北地方整備局企画部が中心となりガイド東北制作委員会が構築されたスマートフォンアプリ「ガイド東北」に参画いたしましたので報告いたします。

このプロジェクトは、東北地方整備局企画部長である安田吾郎氏の発案でスマートフォンのアプリを開発することになり、協力を要請されたことに始まりました。その後、安田部長を菅井専務理事・加藤技術委員・白川事務局で訪問し開発の構想等をお聞きました。理事会においては、地域に根ざした当協会が貢献すべき等の思いもあり当協会30周年の事業として取り組むことになりました。ガイド東北特別委員会を設置し、委員長として不肖私田村、副委員長に加藤一也氏、委員として鶴沼順之氏、建部孝仁氏、大沼啓一氏、渡辺貢志氏の総勢6名でのスタートとなりました（後にコンテンツ入力量が増えた時点で石塚三雄氏、渡辺和明氏、伊藤隆喜氏、海藤剛氏を加え10名の陣容としていただきました）。この時点で決まっていたことといえば、スマートフォンのアプリを作成することと3月14日に仙台市で開催される国連防災世界会議でのお披露目とすることくらいでしたが、何度となく打ち合わせを重ねて細部を詰めていきました。



我々ガイド東北特別委員会でお手伝いしたこととしては、初期においてはアプリのイメージを具体化するためのプロトタイプ所謂叩き台の作成、コンテンツの入力編集を行うためのサイト「ガイド東北入力エディター」の構築、さらにはコンテンツの入力編集、開発期間を通してのコンサルティングとなります。特に入力エディタについては刻々変わっ

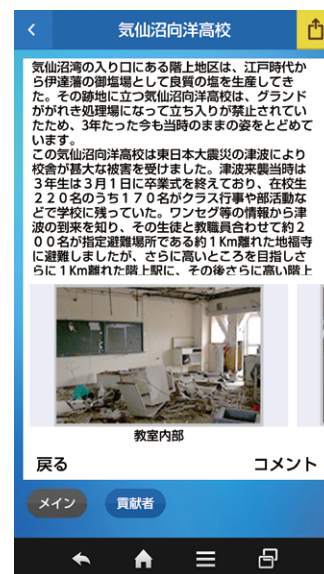
ていく細部の仕様に合わせてアプリ開発側との連携も含め更新作業が膨大なものになりましたが、これについては加藤副委員長が開発作業を引き受けてくれて要望に応えることが出来ました。

これらの努力が貢献として認められ、国連防災世界会議に先立って3月12日に行われたパートナー表彰式において、東北地方整備局長表彰とコンテンツパ

ートナー賞を受賞することが出来ました。全パートナーを通じて複数受賞したのは当協会のみでしたので、東北地方整備局の思いを感じた瞬間でありましたし、委員会の皆さんの努力が報われ、当初の目的は達成されたとの思いも持てました。

ガイド東北はこれからも更新を続けていくとのことですが、現時点での課題としてはコンテンツの質と量の充実と機能面での不足に対する対応、加えて多言語化への対応等もあります。戦略的広報での活用等新しい活用領域も考えられているということです。様々な面で成長していくことになると思います。

是非一度皆さんのスマートフォンあるいはタブレットにガイド東北をインストールしていただければと思います。AppstoreあるいはGooglePlayでガイド東北と検索すれば一番上に現れるはずですのであとは入手あるいは無料をタップすればインストールされます。ある程度のコンテンツが掲載されていますので、ご覧いただければ新たな発見があるかもしれませんし、社会資本のコンテンツの中に東北測量設計協会ガイド東北特別委員会の文字を見つめることが出来るかもしれません。多くの方にご活用いただければ幸いです。



大学等連携事業

● 八戸工業大学 工学部土木建築工学科

(10月17日 3年生 20名)

【測量補講】

青森県内会員を中心に、最新測量機器の紹介や測量実施要領の説明などの座学と合わせ、実際に機器を活用した測量実習を行いました。講義と実習終了後には大学側と協会がそれぞれの課題解決に向けた意見交換を行いました。



● 東北工業大学

(11月11日)

【連携・協力に関する協定締結式】

お互いの人的資源と知的資源を活用して地域社会と建設関連業界の持続的発展を目的に、当日は大学側は宮城光信学長をはじめとした7名、協会側は会長を中心に5名のもとで協定締結を行いました。

- ① 教育・研究に関すること
- ② 地域社会・地域産業への貢献に関すること
- ③ その他、学生のインターンシップなど両者が必要と定める事項



● 東北学院大学 工学部

(10月29日 3年生 120名)

【ジュニアセミナー開催】

就職準備や卒業研究室配属の準備、企業倫理や業界倫理を教育することを目的に「ジュニアセミナー」が開催されており、その中で当協会が最新測量機器の紹介やCIM、橋梁の補修補強技術などの講義を行いました。



● 福島工業高等専門学校

(12月12日 第一部 2年生38名
第二部 5年生39名)

【講義】

第一部は2年生を対象に「建設業の役割」「土木遺産」、第二部は5年生を対象に「地方建設産業の現状と動向」「インフラの老朽化と維持修繕への取組」と題し、質疑応答の時間をしっかり確保して講義を行いました。



平成26年度 技術委員会事業紹介（10月以降）

今年度は、年度早々の5月初旬に開催した「ICM、photog-CAD」に関する研修会を皮切りに、7月には「総合評価・ミス防止研修会」、そして9月に隔年で開催している「現場研修会」を開催いたしました。平成26年度下半期の事業を紹介させていただきます。

●技術士試験基礎対策講習会 H26.11.13

場 所：ハーネル仙台 16社28名参加

講 師：(株)5Doors' 代表取締役 堀 与志男様



技術士受験講座でおなじみの堀先生をお迎えして、「試験制度の概要」、「業務経歴票の書き方」、「択一式対策」、「記述式対策」の4大項目からなる内容でご講義を頂きました。平成27年度の試験制度から始まり、前年度の傾向から今年度の傾向や具体的な業務経歴票の書き方について説明がなされ、更には受験対策の勉強法についても指導を受けることが出来ました。来年度も同様に講座を開設し、当協会より多くの技術士を輩出してみたいと思います。

●講師派遣：(一社)岩手県測量設計業協会

平成26年度「経営者及び営業・技術担当者研修会」

派遣講師：海藤剛副委員長 H27.1.30

岩測協会員40社62名の出席のもと「労働災害事故事例」と題して、これまで編纂してまいりました労働災害事故事例集を基に、安全対策の重要性を説明し日頃の安全対策の重要性を訴えかけました。

受講された企業の皆様から「安全対策の重要性を再認識し今後の業務に大いに参考になった」とのお声を頂きました。

これまでも、整備局をはじめ各県測協様より多くの

ご依頼にお応えしてまいりました。今後も要請があれば迅速に対応してまいります。

●労働災害等アンケート調査 H25.4～H26.3

会員各社より労働災害、物損事故、ヒヤリハットのアンケート調査を実施いたしました。昨年より毎年実施することに致しましたので、労働災害ゼロの実現に生かしてみたいと思います。詳細結果につきましては、5月下旬に各社へメールにて報告させていただいたとおりです。

●安全大会・決意宣言 H27.2.13

場 所：パレス平安

1. 労働災害事故事例について

2. 決意宣言



55社95名の参加のもと、これまでの労働災害事故事例と最新のアンケート調査より抜粋した事例とヒヤリハットを西條祐樹委員より紹介いたしました。協会員相互で労働災害時の状況や労災に至りそうな兆候を予知し、共有することにより、我々業界から労働災害を出さない意識を高めることが出来ました。



続いて佐藤敏倫委員が労働災害撲滅に向けた決意宣言を読み上げ、労働災害の撲滅に向け認識を新たにし、安全大会を終了いたしました。

役員名簿

会 長	鵜 沼 順 二 郎 (株)ウヌマ地域総研	理 事 兼 補 償 員	安 孫 子 健 一 (株)建設相互測地社
副 会 長	安 孫 子 正 芳 (株)寒河江測量設計事務所	理 事	金 隆 夫 (株)コンテック東日本
副 会 長	遠 藤 敏 雄 (株)復建技術コンサルタント	理 事	植 田 義 豊 (株)南部測量設計
専 務 理 事	菅 井 一 男 (株)サト一技建	理 事	伊 藤 隆 喜 創 和 技 術 (株)
理事兼総務委員長	佐 藤 和 昭 (株)キタコン	理 事 兼 ガ イ ド	田 村 道 雄 (株)田村測量設計事務所
理事兼企画委員長	伊 藤 清 郷 陸奥テックコンサルタント(株)	東 北 特 別 委 員 長	庄 子 満 (株)光生エンジニアリング
理事兼技術委員長	菊 池 透 (株)菊池技研コンサルタント	監 事	伊 藤 篤 新 和 設 計 (株)

編集後記

お蔭様で東測協だよりVol.3を発行することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。

企画委員会では、担い手の育成を目的に平成25年度から取り組んできた「大学等との連携事業」を東北大学に続き、八戸工業大学、東北学院大学、福島高専の3校へ講師を派遣し、延べ学生数217名の方に「最新測量技術の講義及び実習」並びにインフラの老朽化と維持修繕への取組等についての講義を行いました。

この事業を通して地域を守る建設関連業の重要性、測量設計業への関心・理解を深めて頂けるように展開して参りました。また、東北工業大学とは連携・協力に関する協定調印式を行い、今後の連携活動について計画しているところです。この連携事業については、本年度も講義継続の要望を数多く頂いている事から担い手育成のために努力して参りたいと考えております。

尚、当協会においては平成27年3月に第3回国連防災世界会議関連事業「ガイド東北」制作協力等への大きな貢献が認められ、東北地方整備局より表彰を受けました。

また、東北地方整備局及び各県事務所長との意見交換会では「若手技術者の確保育成、地元企業の活用、実態に応じた歩掛・積算」等の課題を提起し、活発な議論を重ねた一年でありました。本年度もさらにフットワーク軽い迅速な活動を展開してまいりたいと思います。

(企画副委員長 金 隆夫)



編集・発行・お問合せは

一般社団法人 東北測量設計協会

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目6-17 勾当台さのやビル6F

TEL.022-263-0922 FAX.022-263-1744

E-mail info@tospa.org

公式HP <http://www.tospa.org/>

Access Map



平成27年5月発行